

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	集会施設整備事業				担当部	市長公室				
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	協働推進課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	市民協働係			
	総合計画 新基本計画	施策等	7 行政経営		30 地域協働		2 コミュニティ活動を推進します				
			重点事業		実施計画事業	○					
	予算区分	款	2	項	1	目	9	大	5	中	3
	根拠法令・個別計画	防衛施設周辺対策事業補助金等交付規則、特定防衛施設周辺整備調整交付金交付要綱									
	目的	何・誰を対象に	市の所有する集会施設（共同利用施設、老人憩の家）								
		どの様な状態にするのか	集会施設を整備することにより、地域の健全な自治会活動を推進するため、地域コミュニティ活動及びレクリエーション活動環境を整える。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 地域住民のコミュニティ活動や各種事業の活動拠点となる集会施設の改修工事等を行い、一層の地域活動環境向上を図った。 空港周辺対策事業として、対象区域内の施設について、防衛施設関係交付金を受け集会施設のバリアフリー化、空調機取替え等の改修工事を行うとともに、環境に配慮した太陽光発電を導入した。 ○防衛施設関係交付金対象施設 春日寺会館</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 委託料(9,356千円) 工事請負費(56,263千円) 負担金、補助及び交付金(7,422千円) 27年度その他財源の内訳 特定防衛施設周辺整備調整交付金(27,766千円)</p> <p>◆28年度実施内容 屋上防水改修・外壁塗装改修等の長寿命化を図る工事を中心に、集会施設の改修工事を行う。</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 委託料(6,760千円) 工事請負費(44,400千円) 負担金、補助及び交付金(6,000千円)</p>									
受益者負担	無										

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	87,851	59,652	73,041
正職員		従事者数	人	0.40	0.45	0.40	0.40
		人件費	千円	2,200	2,475	2,200	2,200
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	90,051	62,127	75,241	59,360	
対前年比		%		68.9	121.1	78.8	
財源	一般財源		千円	56,096	34,604	47,475	59,360
	国・県支出金		千円	33,955	27,523	27,766	0
	その他財源		千円	0	0	0	0

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	国庫利用工事数	箇所	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
	集会施設工事数 (国庫対象分除く)	箇所	目標	—	—	—	6
			実績	9	5	4	
	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
			延べ集会施設利用回数	回	目標	26,500	26,500
			実績	25,985	27,888	27,511	
			目標				
			実績				
			目標				

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	特定防衛施設整備調整交付金の対象区域内の1施設について、交付金を財源として改修工事を行った。また、4施設において改修等工事を行い、地域活動の拠点として快適に利用できる環境を整えることができた。集会施設も継続的に利用して頂くことができている。				
		事業実施における課題	築30年を経過した施設も多く、全般的に施設が老朽化している。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	地域活動の拠点である集会施設を快適に利用できる環境を整えることで、地域住民の自主的な活動の支援を行うことができた。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成26年度に行った公共施設劣化診断調査の結果を参考にしながら、屋上防水、外壁塗装など建物の躯体に影響の大きい改修工事を、集会施設全体で優先順位をつけ、計画的に行う。				
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	多くの施設が建設から相当年数が経過しているため、地域の実情に合わせて、安心・安全に地域活動の拠点として集会施設を利用することができるよう、市で整備していく必要があるため。					
	29年度以降の改善案	施設の状態を勘案しながら、引き続き屋上防水、外壁塗装などの長寿命化を図るための工事を集会施設全体で優先順位をつけ、計画的に行う。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 ファシリティマネジメントの視点から計画的に改修を進めること。